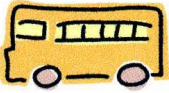


第二回日帰りバスツアー

「国府町の九輪草と

高山市図書館・

飛騨市図書館と古川町散策」



六月六日(木)総勢四十二名のツアーでした。

高山市図書館(煥章館)

午前九時半〜午後九時半までの

十二時間開館。

三十人の職員が二交代で勤務。

打保(うつぼ)館長さんから説明を聞きました。歴史は古く明治九年の筑摩県時代に遡るようで、平成十六年に建設された現在の建物も、当時の洋館づくりの外観を模しています。内部はヒノキの木地を全面に出した温かな雰囲気でした。幼児期に図書館を知ってもらう為に全市からバスで来てもらい、帰りに本を一冊借りて行くようにしているそうです。

次は国府町の九輪草の群生地を観光。



満開のベストタイミング。赤・白・ピンクなどきれいな花が咲き乱れています。

その後、古川町へ

飛騨市図書館

午前九時〜午後八時までの

十一時間開館。

十名の職員が二交代で勤務。

情報交流広場で西山館長さんから説明を受けました。高度情報センターの施設があり、メディア編集室から映像による情報発信も行われていました。建物は二〇〇九年に完成し天井も高く、ゆったりとしたスペースで、平日でしたが賑わっていました。玄関ホールには市民の発表の場のギャラリーがありました。両図書館では、建物以外での中津川市立図書館や私たちの活動内容との比較も出来ました。

高山市図書館は

将来像として、市民の「生活の一部」になる図書館、地域や市民にとって役に立つ図書館を掲げていて、私たちが実行していることに自信が持てました。

ここで学んだことを

今後に生かしていきたいと感じました。



※写真は飛騨市の西山館長さん

(前列中央)と一緒にです。

図書館をもっと身近に、

暮らしのなかへ!

「わたしの図書館」①①

新図書館建設が中止になって私はこのまちの前途を思い暗澹となりました。

そんな時大工ボランティアの初仕事で図書館のセンターテーブルを作りました。

館長さんや仲間の皆さんの創意に助けられています。少しでもいい物を作りたい。図書館に役立ててもらえれば嬉しいと思っています。

図書館は文化のバロメーター、誰でもが立ち寄れ人間づくりに役立つところ、明るく心地よくなった図書館にぜひ足を運んで下さい。

大工ボランティア

押垣 勉さん

